

銘柄コード 7564

2019年3月期 第1四半期決算説明会



株式会社 ワークマン

2018年8月8日 開催

- ・第1四半期決算の概要P3~P8
- ・2019年3月期決算の見通しP9~P11
- ・取組み状況P12~P18
- ・第1四半期決算の詳細P19~P23

第1四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し

取組み状況

第1四半期決算の詳細

第1四半期決算の概要



<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期	
	第1四半期累計期間(4月~6月)		第1四半期累計期間(4月~6月)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	19,950	+4.2	21,675	+8.6
(既存店売上高)	—	+1.2	—	+7.1
営業総収入	14,035	+5.9	14,898	+6.1
販売費及び一般管理費	2,422	+8.9	2,563	+5.8
営業利益	2,652	+7.9	3,023	+14.0
経常利益	2,949	+7.2	3,325	+12.8
四半期純利益	1,846	+8.0	2,104	+14.0
1株当たり四半期純利益	45円25銭		51円57銭	

第1四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 2店舗、スクラップ&ビルド 1店舗、閉店 1店舗
- 2018年 6月末 822店舗
(2018年 3月末比 +1店舗、2017年 6月末比 +18店舗)

店舗運営形態

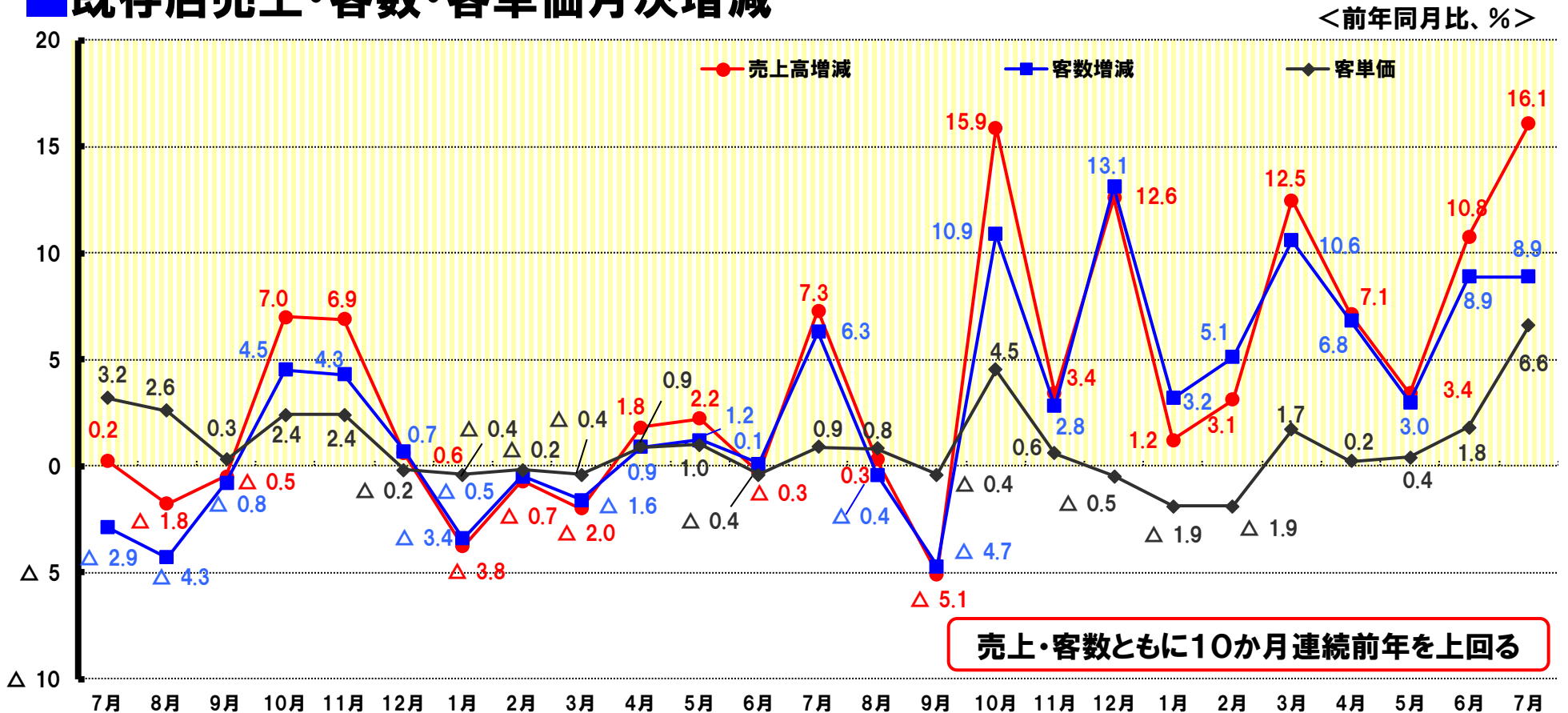
- フランチャイズ・ストア(FC店舗) 2018年 6月末 709店舗
(2018年 3月末比 +17店舗、2017年 6月末比 +40店舗)
- 直営店 合計113店舗(業務委託店舗 95店舗、トレーニング・ストア 18店舗)
- フランチャイズ・ストア比率 86.3%
(2018年 3月末比 +2.0ポイント、2017年 6月末比 +3.1ポイント)

販売強化

- プライベート・ブランド(PB)商品 620アイテムを展開
・PB商品の売上高 78億 21百万円(前年同期比 +35.1%) PB比率 36.2%
- 法人向け作業服「WM STRETCH」、高機能ウェア「エアロSTRETCHシリーズ」の伸張
- テレビ、新聞、雑誌などのメディア展開でプロモーション活動を強化
ワークマンカタログのダイレクトメール発送でPB商品の認知度向上を図る

月次推移と要因

■ 既存店売上・客数・客単価月次増減



2016年

2017年

2018年

17/3期
2Q既存店売上
△0.7%

3Q既存店売上
+4.5%

4Q既存店売上
△2.6%

18/3期
1Q既存店売上
+1.2%

2Q既存店売上
+1.4%

3Q既存店売上
+10.0%

4Q既存店売上
+5.0%

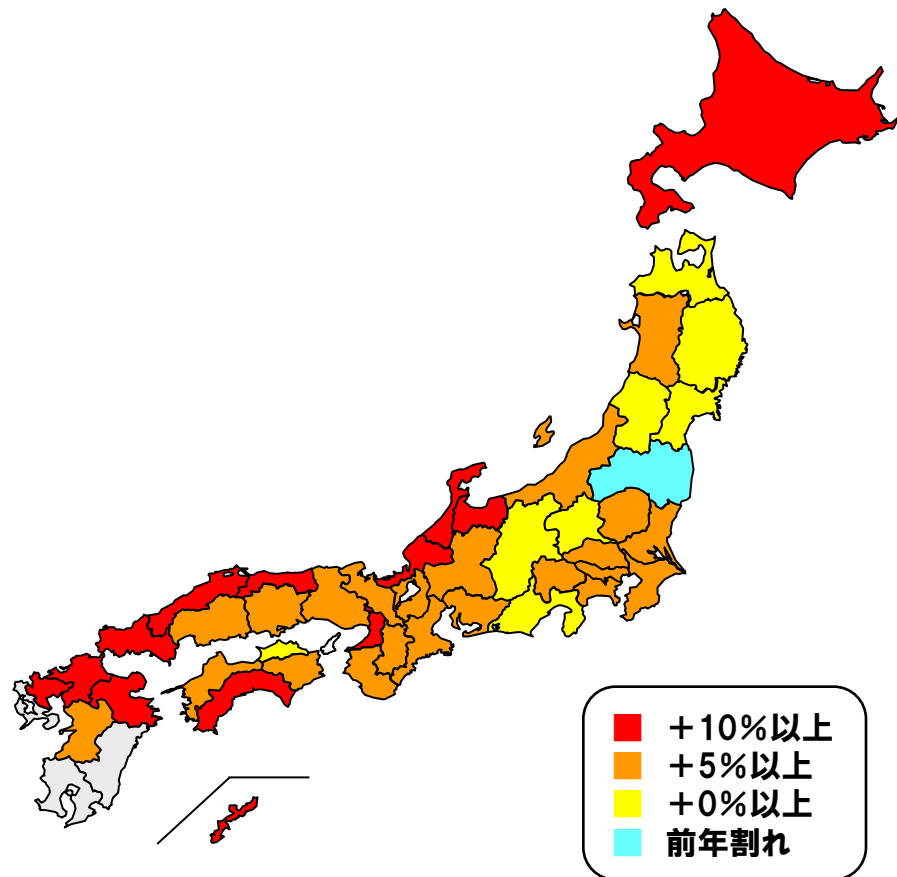
19/3期
1Q既存店売上
+7.1%

チェーン全店売上高 216億円

	チェーン全店	既存店
売上高	+8.6%	+7.1%
客数	+7.9%	+6.3%
1日当たり平均客数	—	115人 (+7人)
客単価	2,654円	2,658円
	+0.7%	+0.8%
1品単価	952円	949円
	+5円	+3円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点
	前年同数	前年同数

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

■ 県別既存店売上高 前年同期比



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2018年3月期 第1四半期累計期間		2019年3月期 第1四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	1,816	+1.1	2,019	+11.1	サマーレギンス +107.5% サマーショートソックス +44.5% 防暑小物 +44.7%
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	2,658	+5.7	2,949	+11.0	サマーコンプレッション +10.7% 半袖ポロシャツ +24.4% 半袖Tシャツ +26.3%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蓑衣料等	6,133	+9.4	6,756	+10.2	空調服 +220.5% カーゴパンツ +37.0%
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	3,649	+0.2	3,682	+0.9	長靴 +12.0% 安全スニーカー +0.8% 地下足袋 △10.4%
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・マスク ・ヘルメット・レインスーツ等	5,039	+1.4	5,556	+10.3	レインウエア +34.0% ヤツケ +9.9% 軍手・作業手袋 +4.0%
その他 食品白衣・オフィスユニフォーム・ 不織布作業服・オンラインストア	652	+4.9	710	+8.9	女性用レインウエア・ヤツケ +32.3% 不織布用品 +4.2%
合計	19,950	+4.2	21,675	+8.6	

第1四半期決算の概要

 **2019年3月期決算の見通し**

取組み状況

第1四半期決算の詳細

通期決算の見通し

<単位:百万円、%>

	2018年3月期		2019年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	79,703	+7.3	83,287	+4.5
(既存店売上高)	—	+4.7	—	+3.4
営業総収入	56,083	+7.7	57,913	+3.3
販売費及び一般管理費	9,864	+7.9	10,133	+2.7
営業利益	10,603	+11.0	11,180	+5.4
経常利益	11,856	+10.4	12,385	+4.5
特別損失	60	△37.4	47	△22.4
当期純利益	7,844	+9.8	8,221	+4.8
1株当たり当期純利益	192円24銭		201円48銭	
1株当たり配当金	58円00銭		58円00銭	

決算の見通しポイント

■ 通期業績予想に対する進捗状況

	第1四半期
チェーン全店売上高	26.0%
経常利益	26.8%
純利益	25.6%

■ 出店計画

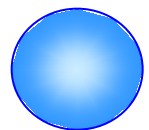
- ・開店 27店舗、クローズ 5店舗で、843店舗(前期末比 +22店舗)
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 4店舗
- ・ショッピングセンター初出店
- ・長崎県へ初出店

■ 利益計画

- ・フランチャイズ・ストア荒利率率 35.7%を想定
- ・純利益 82億円 前期比 +4.8%
- ・純利益ベースで 8期連続の過去最高益達成を目指す。

第1四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し



取組み状況

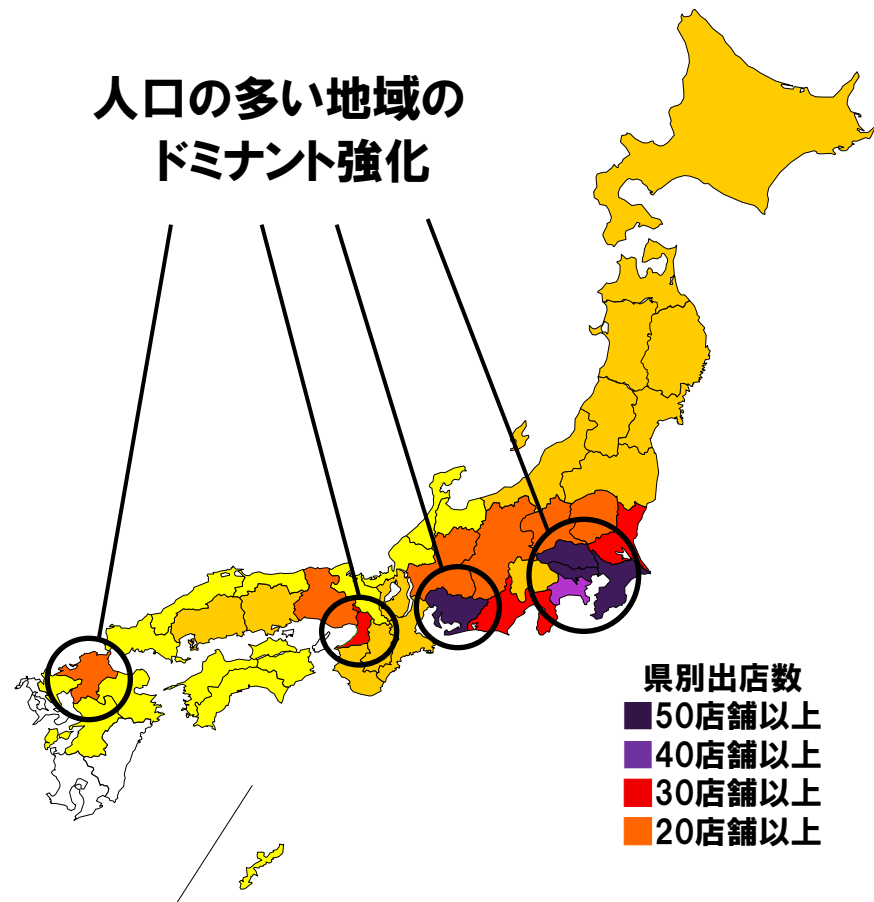
第1四半期決算の詳細

ドミナントエリア化の推進で個店売上の向上を図る

■ 出店状況 (スクラップ&ビルドを除く)

<店舗数>

	4月～7月 出店実績	開店準備中 (契約済)
北海道・東北	2	2
関東	0	4
中部	1	2
近畿	0	1
四国	0	0
九州・沖縄	3	4
合計	6	13



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

2019年 3月期計画

フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 720店舗(前期末比 +28店舗)

FC化の状況

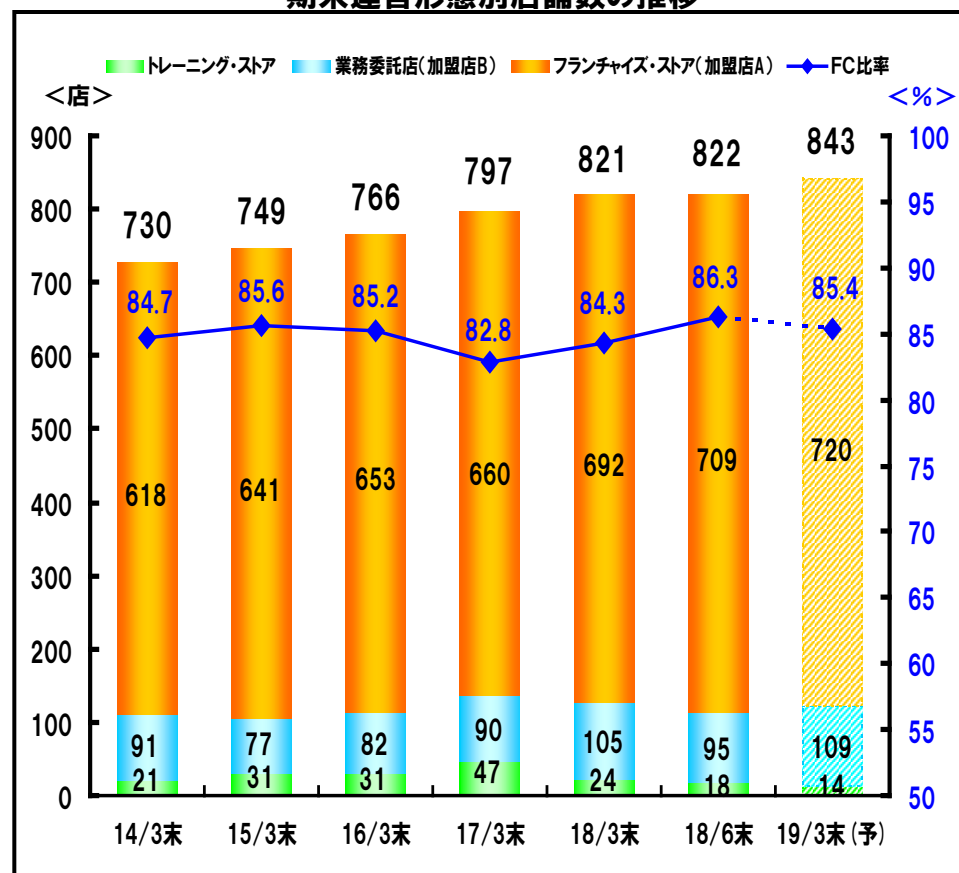
4月～6月の店舗運営形態の推移(開店含む)

<店>

	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (内業務委託契約からの変更)	+18 (14)	△1	+17
業務委託店舗 (内FC契約からの変更)	+5 (0)	△15	△10
トレーニング・ストア	+2	△8	△6

※2018年3月末時点との比較

期末運営形態別店舗数の推移



「Gx1.5プロジェクト」の推進でフランチャイズ・ストア平均年商1.5億円の実現

■本部による加盟店支援策 進捗状況

- 法人向けワーキングユニフォーム販売実績(6月末時点)

⇒「WM COOL」 前年同期比 2.6%増

「WM STRETCH」 // 121.7%増

「Wインパクト」 // 5.8%増

「WM-CRAFT」 昨年9月より販売開始

- ワークマンカタログのダイレクトメール発送

⇒発送部数 9万部、1店当たり約110部

- 需要予測発注システム

2018年7月末時点で103店舗が稼働

⇒稼働中店舗の売上伸び率平均 5ポイント程度上昇



「WM COOL」夏用
上下で税込3,000円



「WM STRETCH」夏用
上下で税込3,000円



「WM-CRAFT」年間
上下で税込3,000円



「Wインパクト」年間
上下で税込3,400円

プライベート・ブランド(PB)商品の開発

プライベート・ブランド(PB)商品の拡販で他社と差別化

- 2019年3月期計画
 - ・PB商品売上高 300億円(前期比 20%増)
- PB商品販売状況
 - ・4月～6月実績 78億21百万円(前年同期比 35.1%増) PB比率 36.2%
- ブランド別販売状況(2018.4月～6月)

ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前年同期比)	販売金額 (前年同期比)
アウトドア向け「 FieldCore 」	31 (27)	60万点 (+77.1%)	12億38百万円 (+82.5%)
スポーツ向け「 Find-Out 」	31 (20)	35万点 (+171.0%)	3億15百万円 (+133.0%)
高機能防水「 AEGIS 」	5 (2)	1.7万点 (+45.5%)	85百万円 (+42.2%)
合計	67 (49)	95万点 (+101.5%)	16億39百万円 (+87.6%)

「WORKMAN Plus」出店について①

ショッピングセンター「ららぽーと立川立飛」に高機能ウェア専門店 9月5日(水)オープン



アウトドアウェアの「FieldCore」



エアロストレッチブルゾン
税込2,900円



防風防寒ジャケット
税込2,900円



ストレッチウォームパンツ
税込2,900円



スポーツウェアの「Find-Out」



クロスシールド
軽量防寒ブルゾン
税込1,900円



耐久撥水
ウォームジャケット
税込2,900円



ライジングトレイルタイツ
税込980円



軽量アスレシューズ
税込980円



レインスーツの「AEGIS(イージス)」



イージス360° リフレクト
透湿防水防寒ジャケット
税込5,800円



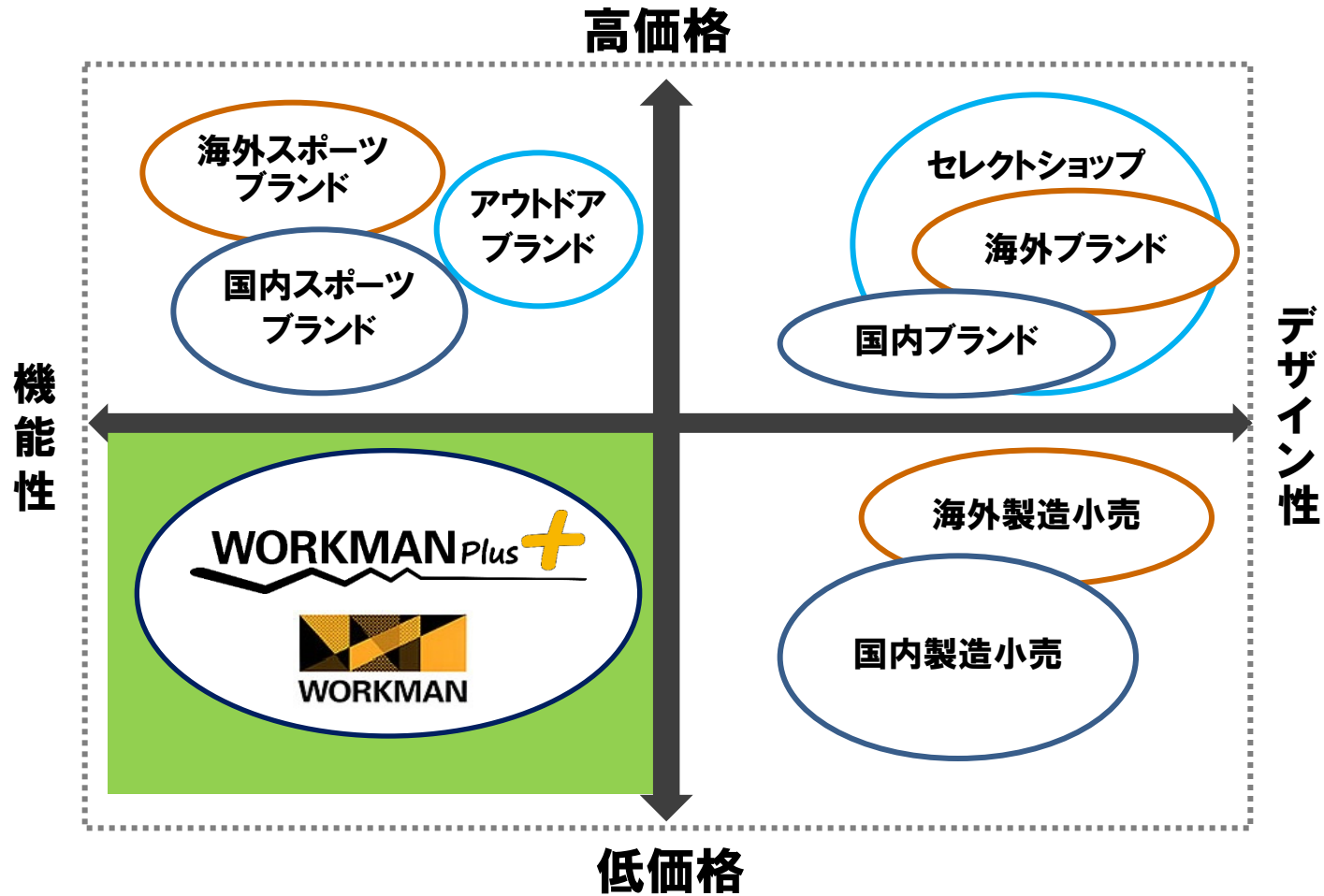
イージス透湿防水防寒スーツ
税込6,800円



イージスオーシャン防水防寒スーツ
税込6,800円

「WORKMAN Plus」出店について②

アパレル業界でのポジショニング



第1四半期決算の概要

2019年3月期決算の見通し

取組み状況

 **第1四半期決算の詳細**

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2018年 3月期末	2019年3月期 第1四半期末	増減	増減要因
流動資産	51,916	50,353	△1,562	
現金及び預金	38,174	36,889	△1,284	税引前四半期純利益 33億 17百万円 減価償却費 2億 42百万円 商品勘定減少 7億 80百万円 仕入債務の減少△8億 83百万円 配当金支払額 △21億 45百万円
加盟店貸勘定	6,303	6,453	150	対象店舗が7店舗増加(620店舗→627店舗)
商品	6,477	5,703	△774	店舗在庫2億49百万円減少、流通センター在庫4億62百万円減少 海外仕入の未着商品59百万円減少、直販部在庫11百万円減少 オンラインストア在庫8百万円増加
固定資産	21,330	20,980	△350	
有形固定資産	14,913	14,892	△20	
建物(純額)	7,850	7,888	37	出店・閉店状況 出店3店舗(S&B含む)、閉店1店舗 出店形態 土地リース3店舗
土地	3,988	3,988	—	関東信越本部及び東京本部改装
その他	3,074	3,016	△57	
構築物(純額)	1,314	1,306	△7	
工具・器具・備品(純額)	820	812	△7	
リース資産(純額)	908	883	△24	
無形固定資産	288	270	△17	
投資その他の資産	6,129	5,817	△311	「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用
差入保証金	4,498	4,392	△106	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	73,246	71,334	△1,912	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2018年 3月期末	2019年3月期 第1四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	10,932	9,122	△1,809	
買掛金・加盟店買掛金	3,955	3,071	△883	
未払法人税等	2,408	1,154	△1,254	
その他	3,176	3,536	359	
未払金	1,753	2,096	342	
預り金	16	325	309	配当金源泉税など
固定負債	2,936	2,932	△3	
長期預り保証金	854	847	△7	
資産除去債務	1,013	1,048	34	
その他	1,067	1,037	△30	
リース債務	1,050	1,022	△27	
負債合計	13,868	12,055	△1,813	
株主資本	59,433	59,170	△262	
純資産合計	59,378	59,278	△99	自己資本比率83.1% 2.0ポイント上昇
負債純資産合計	73,246	71,334	△1,912	

損益計算書1

<単位:百万円、%>

	2018年3月期 第1四半期累計期間		2019年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	3,558		3,889		+9.3	
加盟店からの収入	2,748		3,108		+13.1	加盟店期中平均店舗数 前第1四半期 666店舗、 当第1四半期 706店舗 40店舗増 加盟店売上高 前第1四半期 177億 2百万円、 当第1四半期 195億 55百万円 10.5%増 荒利率 前第1四半期35.8%、当第1四半期36.0%
その他の営業収入	809		780		△3.5	国内ベンダー仕入前年同期比△1.3%による業務受託料収入の減少
売上高	10,476		11,009		+5.1	
直営店売上高	2,247	(100.0)	2,120	(100.0)	△5.7	直営店期中平均店舗数115店舗(21店舗減)
加盟店向け商品供給売上高	8,229		8,888		+8.0	FC店期中平均店舗数706店舗(40店舗増) 加盟店売上高 前年同期比10.5%増
営業総収入	14,035	100.0	14,898	100.0	+6.1	
直営店売上原価	731	5.2	421	2.8	△42.4	
加盟店向け商品供給売上原価	8,229	58.6	8,888	59.7	+8.0	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	8,960	63.8	9,310	62.5	+3.9	

損益計算書2

<単位:百万円、%>

	2018年3月期 第1四半期累計期間		2019年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,516)	(67.5)	(1,698)	(80.1)	+12.0	海外直接貿易取引の増加と為替予約による仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	5,074	36.2	5,587	37.5	+10.1	
販売費及び一般管理費	2,422	17.3	2,563	17.2	+5.8	増減要因 販売費 約49百万円増加 流通センター運営費用 約60百万円増加 本部棟移転費用など一般管理費 約1億23百万円増加 人件費 約12百万円減少 直営店期中平均店舗数減少(21店舗) 約69百万円減少 家賃等一般管理費 約11百万円減少
営業利益	2,652	18.9	3,023	20.3	+14.0	
営業外収益	312	2.2	315	2.1	+0.8	
営業外費用	15	0.1	14	0.1	△10.4	
経常利益	2,949	21.0	3,325	22.3	+12.8	
特別損失	2	0.0	7	0.1	+172.1	減損損失 返却予定店3店舗、約1百万円 本部棟移転による旧本部の除却損約6百万円
四半期純利益	1,846	13.2	2,104	14.1	+14.0	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 財務部IRグループ

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>